

料金別納郵便



しょうこ 小池頌子展 一青に魅せられて一

令和5年2月1日(水)~7日(火) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日7日は午後5時まで)

作家在廊日：2月1日(水)、4日(土)、5日(日)、7日(火)

陶歴	昭和18年	北京に生まれる
	昭和44年	東京藝術大学大学院 陶芸専攻 修了 サロン・ド・ブランタン賞
	昭和59年	個展(乾ギャラリー/東京)
	平成15年	「現代陶芸・14人の尖鋭たち—器から造形へ—」(高知県立美術館) 「Japanese Ceramic Today Part3」(菊池寛実記念 智美術館/東京)
	平成17年	「Contemporary Clay Japanese Ceramics for the New Century」 (ポストン美術館)
	平成18年	「現代の茶陶—造形自由と用見立て」優秀賞(菊池寛実記念 智美術館/東京)
	平成19年	「群青の彼方から 小池頌子」展(菊池寛実記念 智美術館/東京)
	平成21年	2008年度日本陶磁協会賞
	平成24年	「川崎 毅・小池頌子—街の風景・白のかたち—」(和光ホール/東京)

師も走る寒い一日、小池頌子さんのご自宅兼工房を訪ねました。その瀟洒で素敵な白壁の建物は、東京藝術大学在学中にご主人である陶芸家の川崎 毅さんと一緒に建てられたとの事。庭には美しい草花や木々が残り、壁にかかるセンスの良い品々に流石とうなりました。

さて、弊廊で初個展となる本展では最新作など50点を発表致します。彼女は、フェルメールの青いターバンの娘や、イランのモスクの青色に魅せられたとの事で、これまで青色を用いた作品を手掛けてきました。そのモチーフは貝や花であり、大作から用の器まで(時には茶陶も)一眼で小池作品とわかる存在感で、愛陶家の心に響く作品を懸命に作って来られました。私も小池茶碗と水指を愛用しており、本展は、弊廊にとっても念願の展覧会です。

川崎さんの香り高き珈琲を楽しみつつ、小池さんが「見てみて!」と笑顔で持って来られたのは、このご自宅を建てた時の写真と日記。詳細に記された日記に目を丸くし、この家と共に育まれてきた素敵な小池家の歴史が手に取るようにわかりました。私の憧れの心豊かなご夫妻です。

小池家の庭にある立派な木蓮が花を咲かせるにはまだ少し早い、大寒の候ですが、ご清覧頂ければ嬉しいです。

店主 安田尚史

柿の葉ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com



お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

